

社会調査法 第3回

配付資料 大阪日日新聞 なにわ人物伝

1. 社会福祉調査の歴史

なぜ、^{ひんこん}貧困があるのか ^{まず}なぜ生活が貧しく、^{しぼうりつ}子どもの死亡率が高いのか？

イギリスで

^{さんぎょうかくめい}産業革命と、^{とし ひんこん}都市の貧困

- ・1845年 ^{こうじょうぬし}エンゲルス(工場主)「^{ろどうしゃかいきゅう}イギリスにおける労働者階級の^{じょうたい}状態」
- ・1848年 ^{りゅうこう}コレラの流行 ^{かんせんげん}感染源を探す ^{いど}井戸を^{はっけん}発見 ^{いし}医師と^{ぼくし}牧師
- ・1880年代 ^{セツルメント}の活動
^{ちしきじん}学生や^{ちしきじん}知識人が^{そうだん}生活の相談、^{えんじょ}援助、^{しゃかいちようさ}社会調査を^{おこな}行う
- ・1982年～ ^{ブース}「^{ロンドン市民}の生活と労働」
- ・1901年 ^{ラウントリー}「^{ひんこん}貧困 - ^{とし}都市生活の^{けんきゅう}研究」

アメリカで

シカゴ ^{いみん}移民の急増・^{けい}アフリカ系^{きゅうぞう}アメリカ人の急増 ^かゲッター(スラム)化

- ・1880年 ^{シカゴ大学}開設
- ・1887年 ^{シカゴ万博}開催
- ・1889年 ^{シカゴのセツルメント}「ハルハウス」
^{たん ひさん}スラムは単に悲惨なだけではない
- ・^{シカゴ学派} ^{がくは}バージェスとパーク ^{とし}都市と^{とし}都市住民の^{けんきゅう}研究

日本で

^{たいしょうまつき}大正末期から^{しょうわしよき}昭和初期 ^{1900年代}はじめ ^{きょうさく}凶作、^{きょうこう}恐慌、^{とし}都市化

- ・1899年 ^{よこやまげんのすけ}横山源之助「^{かそうしゃかい}日本の下層社会」
- ・1918年 ^{ほうめんいじん}大阪で「^{ちようさ}方面委員」^{ちようさ}貧困者の調査
- ・1919年 ^{おおはらしやかいもんたいけんきゅうじょせつりつ}大原社会問題研究所設立 ^{にゅうじしぼう}「^{しゃかいてきげんいん}乳児死亡の社会的^{かん}原因に関する^{こうさつ}考察」

など

【この当時の調査】 社会福祉調査研究会【編】1986

「戦前日本社会事業調査資料集成 第1巻 貧困 1 大正期」 勤草書房

東京市内の細民に関する調査（東京市社会局）

集団細民の生活状態調査（岡山県社会課）

細民集団地区調査（内務省社会局）

細民生計状態調査（内務省社会局）

貧困者生活状態（名古屋市社会課）

市内各町細民状態調査（名古屋市社会課）

神戸市内ノ細民ニ関スル調査〔生計之部〕（神戸市社会課）

貧困者の生活状態（長野県社会課）

細民生活状態調査報告（抄）（静岡県社会課）

富山県ニ於ケル窮民状況調査（富山県）

本市に於ける窮民（大阪市社会部）

貧困者に関する調査（京都市社会課）

極貧者調査（愛知県社会課）

貧民の実況調査（救世軍本営）

救護視察の実況（兵庫県内務部社会課）

現在の名古屋市 健康
福祉局 生活福祉部が
貧乏な人の調査をした

現在の愛知県 健康福祉部
地域福祉課が
貧乏な人の調査をした

民間団体の調査

その後 海外では

1960年代～

・ 貧困の再発見 アメリカ ピーター・タウンゼント

・ 貧困との戦争 アメリカ ジョンソン大統領

メディケイド（低所得者向け公的医療保険制度）

メディケア（高齢者や障害者を対象とした公的医療保険制度）

フードスタンプ（食料引換え切符）

その後 日本では

・ ホームレス 高齢者・障害者 ワーキングプア

三浦展「下流社会」

名古屋市、国「ホームレス実態調査」 日本では2000年頃から

東京都、国「ネットカフェ実態調査」2007年前後

国 自治体 高齢者実態調査 障害者実態調査 精神障害者実態調査・・・

堺市健康福祉局 「貧困の連鎖と固定化に関する研究」 2006年

生活保護受給者抽出調査

受給世帯主の育った家庭の25%が生活保護の受給経験あり、最終学歴は72%が中卒か高校中退

名古屋市の場合

表21-1 被保護世帯・人員

(各年度月平均)

年度・区名	被保護世帯数	被保護実人員	保護率
22	32,424 世帯	42,248 人	1.87 %
23	35,177	45,904	2.03
24	36,889	48,106	2.12
25	37,872	49,312	2.18
26	38,149	49,280	2.17
千種	2,282	2,754	1.69
東	818	961	1.28
北	3,001	4,070	2.48
西	2,458	3,162	2.17
中村	4,908	5,712	4.21
中	1,663	1,993	2.45
昭和	1,502	1,760	1.68
瑞穂	1,391	1,659	1.58
熱田	1,188	1,393	2.15
中川	3,973	5,636	2.56
港	2,913	4,411	3.03
南	4,454	5,713	4.13
守山	2,230	2,896	1.69
緑	1,919	2,637	1.12
名東	1,907	2,596	1.60
天白	1,543	1,925	1.21

ひょう だいとし とうきょうと あいちけん ぜんこく ほごじょうきょう
表21-3 20大都市・東京都・愛知県・全国の保護状況

(平成26年10月中)

県都市名	ひほごせたいすう 被保護世帯数	ひほごじつじんいん 被保護実人員	ほごりつ 保護率
名古屋市	38,231 世帯	49,362 人	2.17 %
札幌市	52,952	74,430	3.84
仙台市	12,751	17,750	1.66
さいたま市	14,912	20,087	1.62
千葉市	15,291	19,865	2.06
東京都	228,972	295,161	2.22
横浜市	52,629	71,003	1.92
川崎市	24,271	32,727	2.26
相模原市	9,697	13,956	1.94
新潟市	8,706	11,860	1.46
静岡市	6,831	8,897	1.25
浜松市	5,695	7,585	0.96
京都市	33,129	46,916	3.19
大阪市	117,669	149,159	5.56
堺市	18,665	26,160	3.11
神戸市	34,869	48,816	3.17
岡山市	9,831	13,710	1.92
広島市	19,737	27,828	2.35
北九州市	18,540	24,117	2.49
福岡市	32,595	43,929	2.92
熊本県	12,556	17,108	2.31
愛知県	60,734	79,797	1.07
全国	1,615,240	2,168,393	1.71

ひょう せたいるいがたべつひ ほごせたいすう
表21-6 世帯類型別被保護世帯数

(各年度3月中 単位：世帯)

としたり 年度	けい 計	たんしんしやせたい 単身世帯			ひとじょう 2人以上の世帯			
		こうれいしや 高齢者 せたい 世帯	しょうびょう 傷病・ しょうがいしや 障害者 せたい 世帯	た その他 のせたい 世帯	こうれいしや 高齢者 せたい 世帯	ほし 母子 せたい 世帯	しょうびょう 傷病・ しょうがいしや 障害者 せたい 世帯	た その他 のせたい 世帯
22	33,706	12,513	8,135	6,486	1,276	1,912	1,775	1,609
23	35,849	13,517	8,548	6,762	1,325	2,041	1,872	1,784
24	37,333	14,547	8,642	6,844	1,425	2,172	1,883	1,820
25	37,722	15,489	8,528	6,408	1,454	2,200	1,891	1,752
26	38,101	16,457	8,452	6,016	1,549	2,162	1,761	1,704
働 いて いる 世 帯 主 が								
じょうよう きんろうしや 常用勤労者	3,968	391	578	1,601	44	832	71	451
ひやとい るどうしや 日雇労働者	415	54	52	200	7	47	6	49
ないしやく 内職者	60	12	6	13	3	12	3	11
た そのた 他の就業者	234	39	67	79	4	18	10	17
せたいいん 世帯員が 働 いて いる 世 帯	829				70	136	339	284
はたら 働 いて いる 者 の せ 帯 い ない 世 帯	32,595	15,961	7,749	4,123	1,421	1,117	1,332	892